

2020年度 1年1組のこどもたちが出合ったお話のリスト

日付	書名	作品	出版社/所要時間	感想
9/3	しょうじきこぞうさん	作 絵 文 松岡 節 画 毛利 将範 訳	教育画劇 5分	良くも悪くも正直者の小僧さんが、素直に和尚さんの言いつけを聞いてしまう姿が可愛らしく面白い紙芝居です。子供たちは、勘違いをした小僧さんの行動に驚きながらも楽しんでくれていました。
9/3	あぶらぜみのあぶちゃん	作 絵 タダ サトシ 文 高家 博成 画 訳	童心社 4分	夏の終わりですが、最近6年生がセミを1年生の教室に持ってきてくれた話を聞き、この本を選びました。セミが卵から生まれ、成虫になって鳴くまでの物語です。生活で学習したようで、子どもたちは真剣に聞いてくれました。
10/8	ふしぎなキャンディーやさん	作 みやにし たつや 絵 みやにし たつや 文 画 訳	金の星社 6分	口に入れると不思議なことが起こるキャンディーを売っているお店。重たい物を持ち上げたり、オオカミになれたり、透明になつたり、不思議な体験をするふたくんのお話です。子どもたちは、自分だったらどのキャンディーを買おうかと想像しながらお話を聞いてくれました。
10/8	よーいどん!	作 絵 村上 康成 文 中川 ひろたか 画 訳	童心社 3分	今月、小学校で開催される運動会を楽しみにしている子どもたちに可愛い絵本を読みました。本当にはあり得ないことが起こる運動会に「えー、そんなことないない」との声が聞こえてきました。小学校では初めての運動会を迎える1年生、徒競走と表現を頑張っね。
11/12	どんぐり	作 絵 辻村 益朗 文 こうや すずむ 画 訳	福音館書店 8分	子どもたちが捨るのが大好きな「どんぐり」について読んでみました。少し長めの文章でしたが、子どもたちが集中して聞いてくれたのがとても嬉しかったです。
12/17	ほくだけのこと	作 もり えと 絵 スギヤマカナヨ 文 画 訳	 7分	みんな違ってそれぞれで素敵だよというお話。それぞれのほくだけのことを見つけて行くお話です。
12/17	おばさんのごちそう	作 五味太郎 絵 文 画 訳	 7分	「何を作っているのかな」と聞き手も考えたくなるお料理を作っていくお話です。子供達が、「バンド!」とか「シチュー」などと発言してくれたのですが、それぞれに答えてあげる余裕がなく、こちらのスキル不足を感じました。子供の感想も聞きたいです
12/17	ハグ	作 佐々木まき 絵 文 画 訳	 2分	
1/21	としょかんライオン	作 ミシェル・ヌードセン 絵 ケビン・ホークス 文 画 訳 福本友美子	岩崎書店 15分	図書館は、町の人たちが本を読んだり、借りたりするところです。図書館には誰でもいますが、ある日突然、町の図書館に大きなライオンがやって来ました。「ルール」ってなに?一番大切なことを静かに教えてくれる物語です。
2/18	むしを たべる くさ	作 伊地知英信 写 渡邊弘晴 画 訳	ポプラ社 7分	食虫植物の写真絵本です。虫が食べられる場面が多く、朝からすこし怖かったかもしれませんが、写真がとても大きくて綺麗ななので、プロジェクトにとっても映えて見やすかったと思います。面白かったという声も聴けたので良かったです。

2020年度 1年2組の子どもたちが出合ったお話のリスト

日付	書名	作品	出版社/所要時間	感想
9/3	中をそうぞうしてみよ	作 佐藤雅彦+ユーフラテス 絵 山本晃士ロバート 文 画 訳	福音館書店 5分	見えない物の中の様子を「そうぞうしてみよ」！ エックス線写真を使い、見えない物の中身を見ていく、ドキドキワクワクするこの絵本は、好奇心旺盛なこの時期にピッタリだと思い選びました。ページをめくる度に起こる歓声は素直な1年生らしい反応で、読んでいてとても楽しかったです。
9/3	歯がぬけた	作 中川ひろたか 絵 大島妙子 文 画 訳	PHP研究所 5分	絵本の題名を聞いただけで「歯がぬけた」と子供たちからいろいろ声があがった後、読み進めていった話の最後は、ぬけた歯をどうするか??という話の展開。ちょうど歯が抜ける時期なので真剣に最後まで話を聞いてくれました。
10/8	がっこうだっどきどきしてる	作 絵 クリスチャンロビンソン 文 アダムレックス 画 訳 なかがわ ちひろ	WAVE出版 10分	みんなが集まるがっこうには、すぐに慣れて楽しめる子、お勉強が好きな子もいれば、そうじゃない子もいる事。でも、それでいいんだよ、気持ちはみんなそれぞれなんだよ。ほら、がっこうだっどきどきしてるんだよ。多様性を受け入れながら思いやりの気持ちが育まれていく様子が描かれていて、こちらまで温かい気持ちになる絵本です。みんな静かに聴き入ってくれていました。
11/12	いのちのたべもの	作 中川ひろたか 絵 加藤休ミ 文 画 訳	おむすび舎 6分	おつかいを頼まれた男の子がスーパーで選ぶたべものについて色々思いながらお母さんお父さんと話していくお話。いきものをいただいていることを改めて話題にできるきっかけになればと本書を選びました。大人でも忘れがちな感謝の気持ち。給食を食べるときに少しでも思い出ししてくれるといいな。色鮮やかな絵も大きく見せることができ子供たちも最後まで聞いてくれました。
11/12	ぼくのふとんはうみでできている	作 ミロコマチコ 絵 文 画 訳	あかね書房 4分	タイトルを読んだ時に「えーなにそれ〜！」と興味をもって聞いてくれました。いろんなふとんが出てきて楽しそうな美味しそうな怖そうな?お話が続きばちつと子猫たちに見つめられ目覚めます。ダイナミックな絵とともに子どもの空想が広がるといいなと思い読みました。途中子どもたちのうわ〜という声がとても可愛く楽しく読ませて頂きました。朝の時間に読みましたが寝る前の読み聞かせにぴったりです。
12/17	の	作 Junaida 絵 文 画 訳	福音館書店 10分	わたしのお気に入りのコートから始まり、そのポケットの中に広がる不思議な広大な世界。色々な冒険の最後が、またわたしで終わる。その不思議な感覚が小学一年生の頭脳でどう捉えられるのかに興味を持って読みました。みんな静まり返ってページのめくり集中していた様子でした。
1/21	パンダ銭湯	作 ツペラツペラ 絵 文 画 訳	絵本館 4分	知ってる〜！という子も多く、秘密がでてるのをワクワク待っていてくれました。パンダしか入れない銭湯での秘密の姿。決めポーズのところではみんなの笑顔がみれて楽しく読めました。
1/21	オオカミがとぶひ	作 ミロコマチコ 絵 文 画 訳	イーストプレス 4分	ダイナミックな絵が目飛び込む絵本です。風や雷のおと、それはオオカミやゴリラのせい。夜はクジラが連れてくる。。眠れない”ぼく”の想像をみんなはじつと次は何が出てくるのか聞いてくれていました。一度では分かりにくいかもしれない本ですが何度も絵と見返して想像してほしい本です。
2/18	いちご	作 新井真紀 絵 文 画 訳	小学館 8分	旬のいちごがどの様に育っているのかを知れる本です。子供たちにも人気のいちご、普段口にしていないもの、身近なものについて詳しく知れる良い機会だと思います。

2020年度 2年1組の子どもたちが会ったお話のリスト

日付	書名	作品	出版社/所要時間	感想
9/3	オレ、カエルやめるや	作 デヴペティ 絵 マイクボルト 文 画 訳 こぼやしけんたろう	マイクロマガジン社 7分	年度初のお話会だったので、たくさん笑ってもらえるといいなと思って選びました。OHCで絵本を写しながら読むので、読み始める前の待ち時間に少し写り具合を確認されても良いかもしれません！
10/8	ミカちゃんのひだりて	作 中川 洋典 絵 文 画 訳	ひかりのくに 9分	今年転入して宮前小学校の仲間入りをした息子。戸惑いながらも早く馴染もうと頑張っています。中学年に向けて、友達と自分の違いを認め合う思いやりの心を育む絵本なので、選びました。コロナ渦に大変な事も多いですが、文字位置を変えると、コ+ロ+ナ=君という漢字に。子供達には、どんな時も君(相手)を思いやれる人間になってほしいです。
11/12	にじいろのさかな	作 マーカス・フィスター 絵 文 画 訳 谷川俊太郎	講談社	子どもたちになじみのある谷川俊太郎さんが訳した絵本を選びました。読み終わった後に子供たちが感想を言ってくれて、ちゃんと聞いてくれたんだなとほっと嬉しくなりました。
12/17	ちいさなろば	作 ルース・エイズワース 絵 文 画 酒井信義 訳 石井桃子	福音館書店 9分	クリスマスが近いので、サンタクロースが出て来るお話にしました。一人ぼっちのロバがサンタクロースにお願いするのはお友達です。最後にはお友達がやってきてハッピーエンドなのですが、物をもらうよりも、友達がいることの大切さが伝わればなと思いました。マスクをしていて声が聞こえるか心配でしたが、みんなとても集中して聞いてくれました。
1/21	ぼくのにやんた	作 鈴木 康宏 絵 文 画 訳	ブロンズ新社 7分	にやんたという空想のねこが、いつもぼくのそばにいる、ほのぼのした言葉遊びの楽しい本です。コロナ禍が続く、大変な毎日ですが、子どもたちが少しでも楽しい気持ちになってくれたらと思い選びました。かわいいとつぶやいたりリクスクス笑いながらも静かに聞いてくれて、たくさんの子が自分のツボだったところを話してくれました。
1/21	ぼくだつてとべるんだ	作 フィフィ・クオ 絵 フィフィ・クオ 文 画 訳 まえざわあきえ	ひさかたチャイルド 5分	ペンギんはとべないってみんないう。でもとびたい！その一心で空を飛ぶ練習をがんばったペンギんの坊や。さて空を飛べたのでしょうか。見方を変えともう一つの真実が見えてくるということを温かく教えてくれる本です。絵がとても可愛いので、子どもたちからも「可愛い、可愛い」の声が聞かれました。
2/18	かぼちゃのスープ	作 ヘレン・クーバー 絵 文 画 訳	アスラン書房 5分	三人の動物が喧嘩をし、心配したり不安になったり、色々な気持ちを感じながら、仲直りしていく物語。子供達の、仲直りをしていくまでの絵本を見る真っ直ぐな視線がとても印象的でした。

2020年度 2年2組の子どもたちが出合ったお話のリスト

日付	書名	作品	出版社/所要時間	感想
9/3	どろんこハリー	作 絵 文 画 訳 マーガレット・B・G ジーン・ジオン わたなべ しげお	福音館書店 5分	子どもたちとおなじ、素直でやんちゃなワンちゃんのお話です。コロナ対策でプロジェクターに絵を映してよみました。マスクで声が聞き取れないかな、とも思いましたが、どの子も静かに聞いてくれました。2年生の成長を感じられました。
10/8	やさしいライオン	作 絵 文 画 訳 やなせたかし やなせたかし	フレーベル館 5分	やなせたかさんの名作ですが、子どもたちに聞いてみると案外読んだことのある子は少なかったです。アンパンマンの作者の人は、こんな本も書いていたんだよ、と話して読み聞かせました。親元から離されてサーカスの人気者になったライオンが、やはり最後はおかあさんの元に帰り本当の自分を取り戻す、切ないけれどとても深いお話。プルプルかわいそう…と思った子どもたちも、いつかこの本に込められた深い深いメッセージに気づいてくれると良いなと思います。
10/8	やきざかなののろい	作 絵 文 画 訳 塚本やすし	ポプラ社 5分	こちらは打って変わってライトで楽しいお話。焼き魚を綺麗に食わず、残してばかりの少年が、焼き魚の恨みを買ってしまう、追い回された末、最後は焼き魚が大好きになってしまうお話。焼き魚が苦手な子も、これを読んで焼き魚を食べるのが楽しみになってくれるといいな、と願いを込めて選びました。
11/12	100円たんけん	作 絵 文 画 訳 中川ひろたか 岡本よしろう	くもん出版 8分	朝の準備が始まりがギリギリでしたが、みんな興味を持って聞いてくれました。100円で何が買えるか商店街を探検するお話です。物の価値を身近なところでわかりやすく学べたかと思います。プロジェクターを使うことで、絵も楽しめたと思います。
12/17	マドレーヌのクリスマス	作 絵 文 画 訳 ルドウィヒ・ベームルマンズ ルドウィヒ・ベームルマンズ 江國香織	BL出版 5分	ストーリーは奇想天外！クリスマスらしからぬお話ですが、物おじしないマドレーヌに勇気をもらえる楽しいお話でした。最初に「クリスマスのお話だけれどサンタクロースではないものがやって来ます」と言葉を添えて読み進めると、子供たちが興味津々といった様子で聞き入ってくれました。
1/21	ぼくのにゃんた	作 絵 文 画 訳 鈴木康宏	ブロンズ新社 7分	にゃんたという空想のねこが、いつもぼくのそばにいる、ほのぼのした言葉遊びの楽しい本です。コロナ禍が続き、大変な毎日ですが、子どもたちが少しでも楽しい気持ちになってくれたらと思い選びました。かわいいとつぶやいたりクスクス笑いながらも静かに集中して聞いてくれました。
1/21	ぼくだつとべるんだ	作 絵 文 画 訳 フィフィ・クオ フィフィ・クオ まえざわあきえ	ひさかたチャイルド 5分	ぺんぎんはとべないってみんないう。でもとびたい！その一心で空を飛ぶ練習をがんばったぺんぎんの坊や。さて空を飛べたのでしょうか。見方を変えるともう一つの真実が見えてくるということを温かく教えてくれる本です。絵がとても可愛いので、子どもたちからも「可愛い、可愛い」の声が聞かれました。
2/18	てぶくろがいっぱい	作 絵 文 画 訳 フローレンス・スロポドキン ルイス・スロポドキン	偕成社 9分	赤い手ぶくろが予想外にたくさん集まってくる楽しいお話です。冬のお話であること、私が2組のお子さんのお母さんではないので、面白おかしい話のほう喜んでもらえるかなと思い選びました。途中、笑いもつつ、集中して聞いてくれ、楽しい時間になりました。

2020年度 3年1組の子どもたちが出合ったお話のリスト

日付	書名	作品	出版社/所要時間	感想
9/3	日本の川 たまがわ	作 村松 昭 絵 文 画 訳	借成社 10分	4年生で習う多摩川について少し早いですが読んでみました。身近な川の水がどこからやってきて最後はどうやって海まで流れていくかを山の神様とその使いの男の子が旅をしながら説明してくれる本です。川底からクジラの化石が出てきた(大昔海だった)ことに驚いたと感想がありました。
10/8	でんせつの きょだい あんまんを はこべ	作 サトシ 作 絵 よしながこうたく 画 文 画 訳	講談社 10分	父が読むことになったので、エネルギーで面白おかしい内容の絵本を選びました。
11/12	かぼちゃのスープ	作 ヘレンクーパー 絵 文 画 訳	アスラン書房 5分	三人の動物が喧嘩をし、心配したり不安になったり、色々な気持ちを感じながら、仲直りしていく物語。子供達の解決していくまでの真っ直ぐな視線がとても印象的でした。
12/17	エルネスト	作 ヨッヘン・シュトゥアーアマン 絵 文 画 訳 関口裕昭	フレーベル館 10分	手紙をくれるようなお友達がいなかった犬のエルネストが誤配送の葉書の持ち主を探す旅に出て色々な人に出会い、帰ってきたら沢山の手紙が来ていて喜ぶお話です。じっと家にこもってないで自分から外へ出て行くと友達が出来て楽しくなると感じてもらえたら、と思いました。
1/21	じゅうにしのおはなし	作 絵 くすはら順子 文 ゆきのゆみこ 画 訳	チャイルド本社 10分	猫がねずみに騙されて十二支に入る事ができなかったという民話をまず読んでから、十二支えほん(作 谷山彩子)という絵本を参考にして本来の十二支と干支の意味と役割(時刻、年日、方角、年齢を表すのに使われた)を簡単に説明しました。
2/18	王様と九人のきょうだい	作 絵 赤羽末吉 文 画 訳 君島久子	岩波書店 10分	9人兄弟がそれぞれの特技を活かし、意地悪な王様を懲らしめる物語です。中国民話で、本来は悲しい歴史的拜見があるようですが、今回はそこまでお話する時間はなかったため、愉快なお話として楽しんでもらいました。兄弟の活躍ぶりにクスクスしながら聞いてくれました。

2020年度 3年2組の子どもたちが出合ったお話のリスト

日付	書名	作品	出版社/所要時間	感想
9/3	光の旅 かげの旅	作 アン・ジョナス 絵 文 画 訳 内海まお	評論社 8分	明け方に家を出て、農場や海を通り街に着き、夜に帰ってくるお話をモノクロの絵の風景を楽しみながら進む絵本。目的地のビルから戻って帰るところから絵本を逆さまにして進みます。行く時に見た風景(絵)が帰り道は違う場面が変わって見える仕掛け絵本。文は少なく風景の説明程度なので特にストーリーもないのですが、その分モノクロの絵がだんだん生き生きと見えてきて、折り返しからは絵の変身ぶりに引き込まれる絵本です。コロナ禍でいろいろ制限のある生活をしている子供たちに、見方を変えるだけで全く別のものになる不思議な絵で、想像力を働かせて視点を変えて楽しめることにつなげてほしいと思いました。読むよりも絵を見せて楽しんでもらうためゆっくりに時間を使いました。始めはぼんやり見ていた子も後半は絵の変身を楽しんでくれていました。
10/8	ウェン王子とトラ	作 チェン・ジャンホン 絵 文 画 訳 平岡敦	徳間書店 10分	むかし、子供を殺された憎しみから人間たちを襲うようになったトラ。困り果てた国の王が占い師から、「王子を差し出せば、国に平穏が訪れる」と予言されるころから始まります。森に置き去りにされた王子ですが、トラの幼いものへの愛情は無くなることなく、王子を逞しく育てていきます。一見、暗い話に感じるかもしれませんが、大迫力の描写とともに、親の深い愛情について、何かを感じ取ってくれればと思い選びました。反省点は、プロジェクターでは色彩が鮮明ではなく、この絵本の良さが伝わりづらかったかもしれないという点です。
11/12	フレデリック ちょっとかわったねずみのはなし	作 レオ レオニ 絵 レオ レオニ 文 画 訳 谷川 俊太郎	好学社 8分	私が小3の頃、この本がとても印象的で大好きになったので選びました！人と違う考え方や視点で物を考えるっていけない事とってしまう事ってこれから先もたくさんあります。でも自分を信じてやりきる。大丈夫、あなたはそれで良いんだよって変わってたっていいんだよってフレデリックは教えてくれます。子供達にとつてフレデリックはなまけものみたく見えてたみたいでした。笑
12/17	クリスマスのおはなし	作 ジェーン レイ 絵 文 画 訳 奥泉 光	徳間書店 8分	聖書を元にしたキリスト誕生を読みました。幼稚園で聞いた事がある子もいましたがそもそもクリスマスとは何かを知るきっかけになればと。プロジェクターに映える絵本にしてみました。
1/21	にっぽんしょうがっこう	作 のぶみ 絵 文 画 訳	WAVE出版 6分	日本には、どんな県があるのかな？その県の名産品ってなんだらう？47都道府県の名産品をした子ども達を通して、日本のいいところ、名産などを楽しく学べる絵本です。3年生になって社会で地図を学ぶようになったので選びました。みんな笑ってくれました！
1/21	教室はまちがうところだ	作 蒔田晋治 絵 長谷川知子 文 画 訳	子どもの未来社 5分	題名の通り、間違っても良いんだよと言うメッセージが沢山書かれています。言葉では分かっているつもりでも、なかなか自信が持てなかったり、間違えることが怖かったり。。。あと一歩の勇気が必要。そんな勇気を後押ししてくれるような絵本です。真面目な絵本なので、みんな真剣に聞いてくれてました。
2/18	いのちのおはなし	作 日野原重明 絵 村上康成 文 画 訳	講談社 7分	日野原先生が子どもたちに向けて行った、命についての授業が絵本になったものです。いのち＝時間という日野原先生からのメッセージを3-2の皆さんに伝えたかったのでこの本を選びました。

2020年度 4年1組の子どもたちが出合ったお話のリスト

日付	書名	作品	出版社/所要時間	感想
9/3	パパの柿の木	作 谷口真知子 絵 亭島和洋 文 画 訳	星湖舎 6分半	日航機墜落事故で無くなった方の家族が書いた絵本。1985年8月12日から35年という節目であり、夏休み中にはニュースを見た子どもたちもいるだろうと思い選定しました。お話自体は短いので、読み終わった後に事故の概要を説明し、また、作者の後書きも紹介しました。担任の先生からも、当時事故の一報に触れた時の感想などを話していただき、子どもたちは皆真剣に聞き入ってくれました。
10/8	もしも月でくらしたら	作 山本省三 絵 文 画 訳	WAVE 10分	お月見にちなんで、月の話を選んでみました。主人公の家族が月で暮らすことになり、そこでの話が書いてあります。子どもたちも興味深く聞き入ってくれていました。
11/12	ぼくを探しに	作 シェルシルヴァスタイン 絵 文 画 訳	講談社 8分	自分の足りないかけらを探して進んでいくお話です。絵も多くて読みやすい本ですが、読む人によって色々な解釈ができるかなと思い選びました。自分にあてはめたときに子供たちが何かを感じ取って考えるきっかけになってくれたらなあと思います。
12/17	ちょっとまぬけなわらい話	作 絵 うちべけい 文 たかしま風太 画 訳	PHP研究所 10分	「声に出して演じる子ども落語」というキャッチコピーだったのでお話劇場にはピッタリでした。今回は音読用の落語(大蛇の仕返し)を読みましたが、千両箱が現在の8000万円に相当する・・ということをお話の最後に伝え、子どもたちは最近大きな数を勉強したからか、俄然盛り上がりました。
1/21	あいつもともだち	作 内田麟太郎 絵 降矢なな 文 画 訳	偕成社 8分	冬眠する動物に挨拶するが蛇だけ挨拶出来ずに、後悔していた狐。冬眠から起きた蛇に狐が「おい！ともだち」と、話しかけ、蛇が《僕、ともだちいたんだ》と、嬉しい気持ちになったお話です。
2/18	10歳の君に贈る、心を強くする26の言葉: 哲学者から学ぶ生きるヒント	作 岩村 太郎 絵 文 画 訳	えほんの杜 10分	哲学という小難しそうに感じるけれど、子供たちが普段ふと疑問に思うような質問に対する言葉が記されていたので、興味を持ってくれるといいなと思いました。いくつかピックアップして読んだので、中にはあまりピンと来なかったり理解が難しかったりするものもあったのかもしれませんが、みんな集中して聞いてくれました。

2020年度 4年2組の子どもたちが出合ったお話のリスト

日付	書名	作品	出版社/所要時間	感想
9/3	ケイティと星月夜	作 ジェイムス・メイヒュー 絵 文 画 訳 西村 秀一	サイエンティスト社 7分	きれいな絵と楽しいストーリーで、子供たちに親しみやすく名画を紹介している本を選びました。シリーズになっていて、今回選んだのはゴッホの作品がテーマです。主人公の女の子は『星月夜』に描かれた星が欲しくて絵の中に入り込んでしまい、他の絵も巻き込んでいながらお話が進みます。
9/3	ファン・ゴッホ美術館所蔵 名画集	作 ルーリー・ズウィッカー 絵 文 画 訳	ゴッホ美術館 3分	ゴッホ作品の絵本を読んだので、それにあわせて、ゴッホの生涯や『ひまわり』などゴッホの代表作を紹介する美術本を選びました。ゴッホの自画像や自宅を描いた絵など、身近に感じてもらえる作品を選んで紹介しました。教室からはゴッホや絵について「知ってる！」という声がありました。
10/8	おれはオオカミだ	作 内田麟太郎 絵 文 画 訳	学研プラス 10分	朝から、笑顔になってもらえたらと思いましたが、4年生になって、クールになりました、
11/12	1つぶのおこめ さんすうのむかしばなし	作 デミ 絵 文 画 訳 さくま ゆみこ	光村教育図書 10分	4年生の算数で倍を習った子供たちが親しみやすい本を選びました。村の娘が算数の知恵を使ってけちな王様から村人を救うお話です。一粒のお米を毎日倍にして貯めていくと30日後には10億粒以上になる様子が、見開きいっぱいの絵で表現されていて、驚いたり、計算したりしている子がいました。
12/17	トリフのクリスマス	作 アンナ・カーリー 絵 文 画 訳 松波 史子	くもん出版 10分	来週がクリスマスなので、この本を選びました。サンタさんへお願いするプレゼントを、自分の欲しいフラフープか家族みんなが喜ぶ毛布にしようか迷っていたこねずみのトリフ。一旦フラフープに決めましたが、夜の寒さに眠れずやっぱり毛布に変更しようと夜中1人でサンタさんに伝えに行こうとしますが…。最後は、サンタさんから本当にプレゼントを貰い家族みんな大喜び！ハッピーエンドの心温まるお話です。
1/21	ぶたばあちゃん	作 ロン ブルックス 絵 文 マーガレット ワイルド 画 訳	あすなる書房 10分	私の父が年末初手術、入院の体験で感じた気持ちを、読む前に聞いてもらってから、読ませて頂きました。ぶたのおばちゃんと孫むすめの2人暮らしを通して、おばあちゃんのラストを孫に伝えるお話です。みんなが集中して聞いてくれました。
2/18	おじいちゃんがおばけになったわけ	作 キム・フォックス・オーカソン 絵 文 画 訳 エヴァ・エリクソン 菱木 晃子	あすなる書房 11分	読もうと思っていた本が、既に読み聞かせされたと知り、急遽他の本を…と探し、子供が好きな本をクラスのお友達にシェアしようと選びました。ただ時間が10分強かかる為、なるべく時間内に収めようと少し早いテンポでの読み聞かせとなりました。。大好きなジジと最後ちゃんとお別れできたエリックは気持ちの整理ができたのかもしれない。これまでの思い出を振り返り…最後にちゃんとお別れを伝える…心温まるストーリーと最後はウルっとします。

2020年度 5年1組の子どもたちが会ったお話のリスト

日付	書名	作品	出版社/所要時間	感想
9/3	はじめての文学より「あいつの年賀状」「あとがき」	作 重松清 絵 文 画 訳	文藝春秋社 10分	国語の教科書で扱っている「カレーライス」が収録されている本より別の短編集を読みました。朗読という形でしたが皆良く聞いてくれました。子供達に向けた「あとがき」も良いので読みました。
10/8	世界がもし100人の村だったら	作 Cダグラス・ラミス 絵 文 画 訳 池田香代子		子ども達に色々な事を考えるきっかけになったらいいなと思い選びました。
11/12	ほんとうのことをいってもいいの？	作 パトリシア・C・マキサック 絵 ジゼル・ポター 文 画 訳 ふくもと ゆきこ	BL出版 10分	ウソをついたりビーはお母さんと本当の事を正直に話すと誓います。ところが本当の事を話したら周りの人を不機嫌にさせてしまい、、、本当の事とはどんな事なのでしょう？
1/21	蜘蛛の糸	作 芥川龍之介 絵 文 画 訳	新潮文庫 10分	五年生も後半になりましたので、古典文学に挑戦してみました。真剣に聞き、感想タイムでは、それぞれが自分なりに一生懸命内容を咀嚼しようとしている様子がうかがえました。身体も心もまさに成長途上。子どもたちのエネルギーにふれられる一時でした。
2/18	でっかいでっかいモヤモヤ袋	作 ヴァージニア・アイアンサンド 絵 フランク・ロジャース 文 画 訳 左近リベカ	草炎社 7分	ストレスが溜まっている主人公が登場しますが今コロナで子供たちもストレスがあつて同じモヤモヤした感情が膨らんでいると思って選びました。5年生ラストの読み聞かせでしたが、静かに聞いてくれて、最後には質問に答えてくれ成長を感じました。

2020年度 5年2組の子どもたちが出合ったお話のリスト

日付	書名	作品	出版社/所要時間	感想
9/3	はなびのはなし	作 たかとうしょうはち 絵 文 画 訳	福音館書店 8分	この夏は、コロナの影響で花火大会が軒並み中止になってしまったので、花火大会に思いをはせるべく、選んでみました。低学年向けとは思いますが、花火の仕組みや関連して働く人々の様子がわかりやすく描かれています。来年は花火大会に行けるといいですね。
10/8	窓ぎわのトットちゃん	作 黒柳徹子 絵 いわさきちひろ 文 画 訳	講談社青い鳥文庫 10分	トットちゃんがトモエ学園に入学が認められるまでを読みました。このお話が自由が丘の話であることや作者の事を知っている子もいました。これを機にいつか手に取って読みたいと思ってくれたら嬉しいです。10分はやはり短いですね。先生も子どもたちもタイトなスケジュールで生活を送っている様子が見えて、コロナが収束しもう少しゆつたりとした時間が取れるようになるといいな、と思いました。
11/12	窓ぎわのトットちゃん	作 黒柳徹子 絵 いわさきちひろ 文 画 訳	講談社青い鳥文庫 10分	10月の担当者が選んだ「トットちゃん」の続きを読みました。私自身も子供のころに読んで印象深かった「トットちゃんが初めて学校でお弁当を食べるところ」を読みました。ちょうど、全校遠足前だったのもあり、遠足のお弁当がますます楽しみになったのではないかと思います。前月も記載頂いているように、ぜひ続きを読みたいなと思ってくれたら嬉しいです。
12/17	意味がわかるとゾクゾクする超短編小説 54字の百物語	作 氏田雄介 他 絵 文 画 訳	PHP研究所 10分	毎回ちょっと変わった本を読むようにしています。今回はたった54文字のお話を7話ほど読みました。短い中でグッと入り込ませる書き方で子供たちも楽しんでいました。先生に用事があったようで、プロジェクトのセッティングが遅くなりました。
1/21	世界がもし100人の村だったら	作 C.ダグラス・ラミス 絵 文 画 訳 池田香代子	マガジンハウス 10分	コロナで世界に目を向ける機会が増えたかと思いますが、世界を知る機会になればと思い、この本を選びました。続編も抜粋して紹介しました。読み始めると集中して真剣な表情で聞いてくれました。
2/18	つきへいったら	作 絵 文 クロウディア・ルイス 画 レオナード・ワイスガード 訳	福音館書店 5分	図書館で1969年初版(アポロ11号が月面着陸した年)の古い本を見つけて、なかなか自分では手にすることないだろうと思い選びました。50年以上たち、再び月探索の話題も出ているので、月から見た地球のイメージを膨らませてもらえるといいなと思いました。5年生には少しシンプル過ぎたかもしれません。

2020年度 6年1組の子どもたちが出合ったお話のリスト

日付	書名	作品	出版社/所要時間	感想
9/3	まつげの海のひこうせん	作 山下 明生 絵 杉浦 範茂 文 画 訳	偕成社 7分	お友達と喧嘩してイライラした気持ちに折り合いを付けるお話です。想像力溢れ、優しい気持ちが怒りをコントロールするのが素敵だなと思って選びました。
9/3	FOREVER YOUNG (はじまりのうた)	作 ボブ・ディラン 絵 ポール・ロジャース 文 画 訳 アーサー・ビナード	岩崎書店 3分	ノーベル賞を受賞した、ボブ・ディランが自分の息子の為に作った歌の絵本。コロナ禍の中でも、子供達に前向きに進んで欲しいなと願って選びました。先生が後で曲も聴かせてくれたそうです。
10/8	鳥獣戯画	作 絵 文 画 訳	博雅堂出版 3分	歴史では習うが実際に見た事がないのではと思い選びました。日本最古の漫画というフレーズに興味深く見てくれました。
10/8	心にのこるオリンピック・パラリンピック	作 (監修)大野益弘 絵 文 画 訳	学校図書 7分	残念ながら2020東京オリンピックが延期となったため、1964東京オリンピックでおきた日本人の心を持つオランダ人柔道家のお話しました。最近では悲しい話題が多いですが来年こそはオリンピックができると信じて希望をもとう！としめくりました。
11/12	グリム兄弟「ドイツ伝説集」より「ハーメルンの笛吹き男」	作 絵 リスベート・ツヴェルガー 文 レナーテ・レッケ 画 訳 池田香代子	BL出版 10分	有名なグリム童話ですが、このリスベート・ツヴェルガーによる美しくも不気味さ漂う挿絵と共に、復讐に燃えるネズミ捕り男と消えた子供達の行方にみんな真剣に聞き入っていました。
12/17	クリスマス日に咲いたひまわり	作 ウテ・クレマー 絵 ラリッサ・シュティールリン 文 画 訳 大貫大輔	ほんの木 10分	クリスマスが近かったので、クリスマスにちなんだ絵本を選びました。お母さんの為に、ひまわりの種を探しに行き、育て、見事にクリスマス日に咲かせた話し。難しかったかな～。と思いましたが、皆良く聞いてくれました。
1/21	きみの町で「好き嫌い きもちって、なに？」	作 重松 清 絵 文 画 訳	新潮文庫 10分	12月に6-2で紹介したきみの町の中から、今回は「好き嫌い」というお話を紹介しました。お休みが多い中少人数でしたが興味深く聞いてくれました。先生も1組さんにピッタリのお話だったねと言ってくださいました。
2/18	ちょっとまぬけなわらい話	作 絵 うちべけい 文 たかしま風太 画 訳	PHP研究所 10分	「声に出して演じる子ども落語」というキャッチコピーだったのでお話劇場にはピッタリで、音読用の落語(大蛇の仕返し)を読みました。プロジェクターが壊れているとのことで、挿絵を見せることができなかつたため、落語っぽく読むのを頑張りました^^;

2020年度 6年2組の子どもたちが出合ったお話のリスト

日付	書名	作品	出版社/所要時間	感想
9/3	レモンをお金にかえる法 “経済学入門”の巻	作 ルイズ・アームストロング 絵 ビル・パツ 文 画 訳 佐和隆光	河出書房新社 7分	いよいよ最高学年の皆さんへ、総理大臣も変わるこの機会に、レモンから砂糖と水を原料とし、レモネードという商品をつくることから始まり、専門用語を交えた起業や経済の仕組みを子供向けにシンプルにわかりやすく書かれた絵本を選びました。初のプロジェクターでの読み聞かせでしたが、興味深く聞いてくださいました。
10/8	「ミツバチの会議」から学べること	作 絵 文 玉川 透 画 訳	The Asahi Shimbun GLOBE 2020年10/4 より抜粋 3分	朝日新聞GLOBEで「民主主義の今、みんなで決めるってむずかしい」という特集の中の記事を抜粋しました。公民で三権分立や民主主義などについて学んだ6年生にも興味深く聞いてもらえたのではないかと思います。ミツバチが巣を引っ越すときに「探索」と「議論」を繰り返し、民主的な会議を行っているということを紹介しています。
10/8	13歳のキミへ	作 高濱 正伸 絵 文 画 訳	実務教育出版 5分	中学入学前にした13歳。いろんな悩みが出てくる時期。大人になって、しっかり生き抜くための学校では教えてくれないヒントが書かれています。35個のヒントのうち、「①合わない、と言わない」を読みました。絵本ではありませんが、みんな前を向いて聞いてくれていました。
11/12	講談社火の鳥伝記文庫 南方熊楠	作 保永 貞夫 絵 文 画 訳	 10分	奇人とも博覧強記とも言われる謎めいた人物、南方熊楠の子ども時代のエピソードを紹介しました。絵の無い文庫でしたが、みんな耳を傾けてくれました。
12/17	きみの町で 「ぼくは知っている ～知って、なに？～」	作 重松 清 絵 文 画 訳	新潮文庫 10分	正解のない問いや、うまくいかないこと、ぶつかり、悩むときもある。でも、生きることを好きでいてほしい。作者がそんな想いで書き綴った物語集です。今回は「知ってなに？」という問いかけに少し考えてみてくださいねと言って紹介しました。
1/21	誰かに教えたくなる宇宙のひみつ	作 竹内 薫 絵 文 画 訳	徳間書店 10分	絵本ではなく、子供向けの宇宙学の入門書より「★地球外生命体はある？」という章を読みました。宮前小の児童は宇宙に興味のある子が多いということ、あまり興味がなくても「宇宙人がいるのかいないのか？」というテーマは皆さん大好きだと思うので、科学者目線からの現状認識を紹介しました。
1/21	旅ドロップ	作 江國 香織 絵 文 画 訳	小学館 10分	旅に関するエッセー集(単行本)より「平安時代の旅」というお話を読みました。「更級日記」の時代のいまとは違う大掛かりな旅の様子。中高生になり古典の授業で習う時に読み聞かせで聞いたな一つと思いついてくれればうれしいです。早くコロナが収束して、旅ができる日が来るといいですね。
2/18	ヒワとゾウガメ	作 安東みきえ 絵 ミロコマチコ 文 画 訳	佼成出版社 10分	いつも当たり前のようにいる相手がいなくなる寂しさ、どんなに仲が良くてもいつまでもずっと一緒にはいられない別れの時がくるとい切なさ。違う者同士(ゾウガメと鳥)だけれど、一緒にいたい、友達でいたい、そんなせつない思いが詰まっています。プロジェクターが使えず、味のある素敵な絵がよく見えなかったかも知れませんが、みんな真っ直ぐ前を見て聞いてくれました。